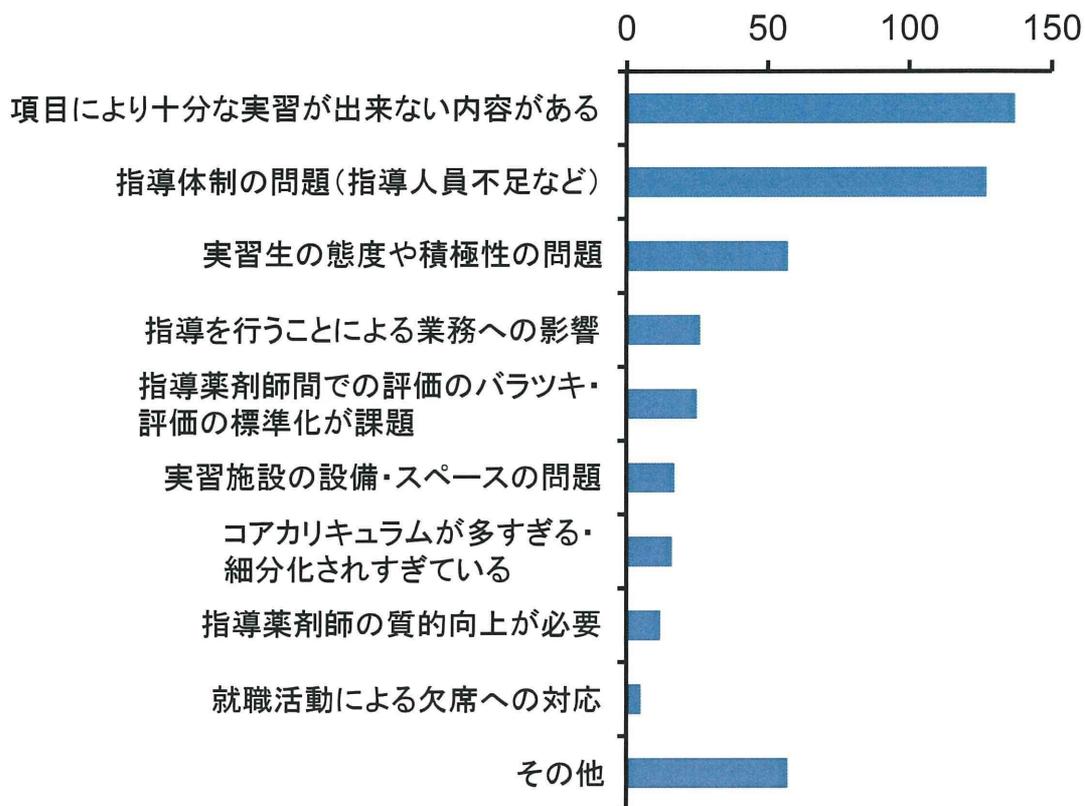


※病棟での管理指導については、「思ったより実習時間が少なかったようだ」、「服薬指導のみだと考えている」、「管理指導=臨床」と考えている、など過度に大きな期待をもっているとする意見が多い。  
 ※その他の業務や実習では、予想以上に多い、あるいは少ないの両意見があった。  
 その他：  
 事前学習や薬局実習の内容を予想以上に覚えていない、など

図28. 各実習受入施設における実習内容と実習生のイメージに乖離があった事例の集計結果。

(A)



(B)

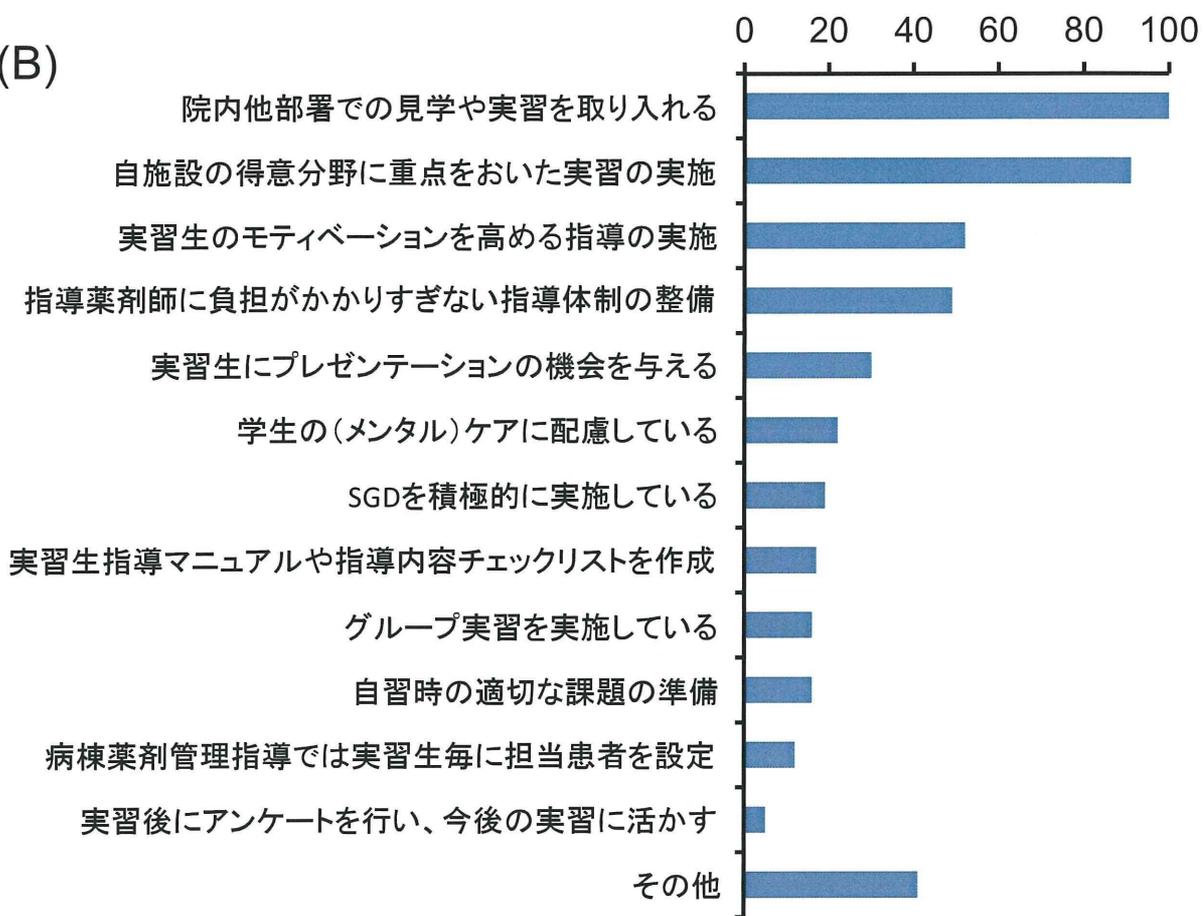


図29. (A) 各受入施設における実務実習の問題点や課題。(B) 各受入施設における実務実習で特に工夫している点。

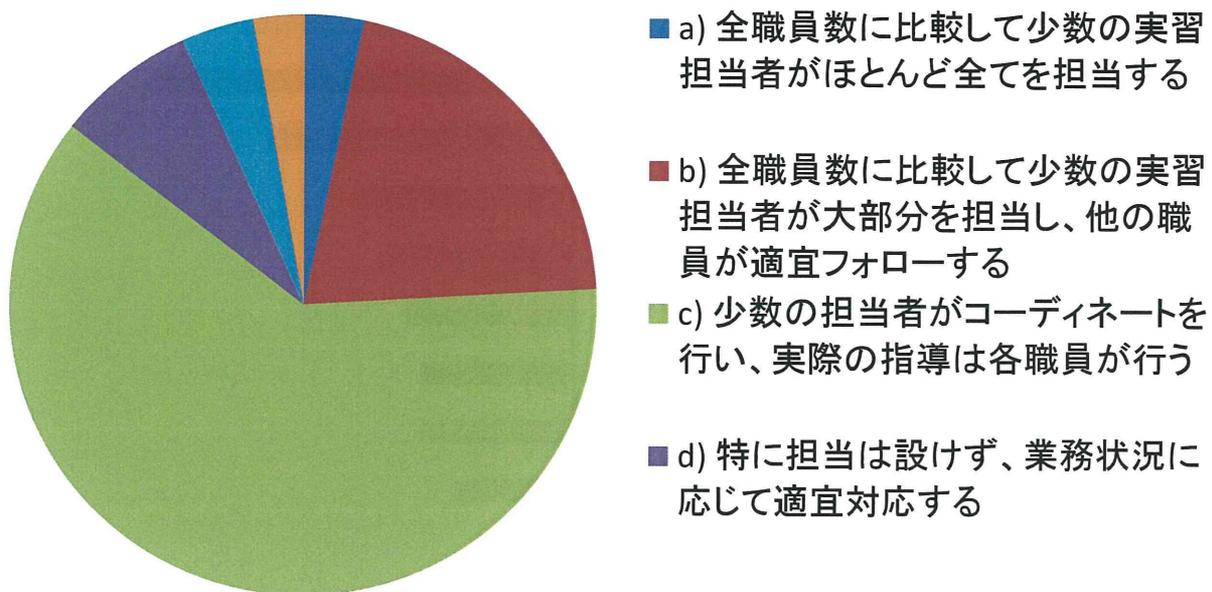
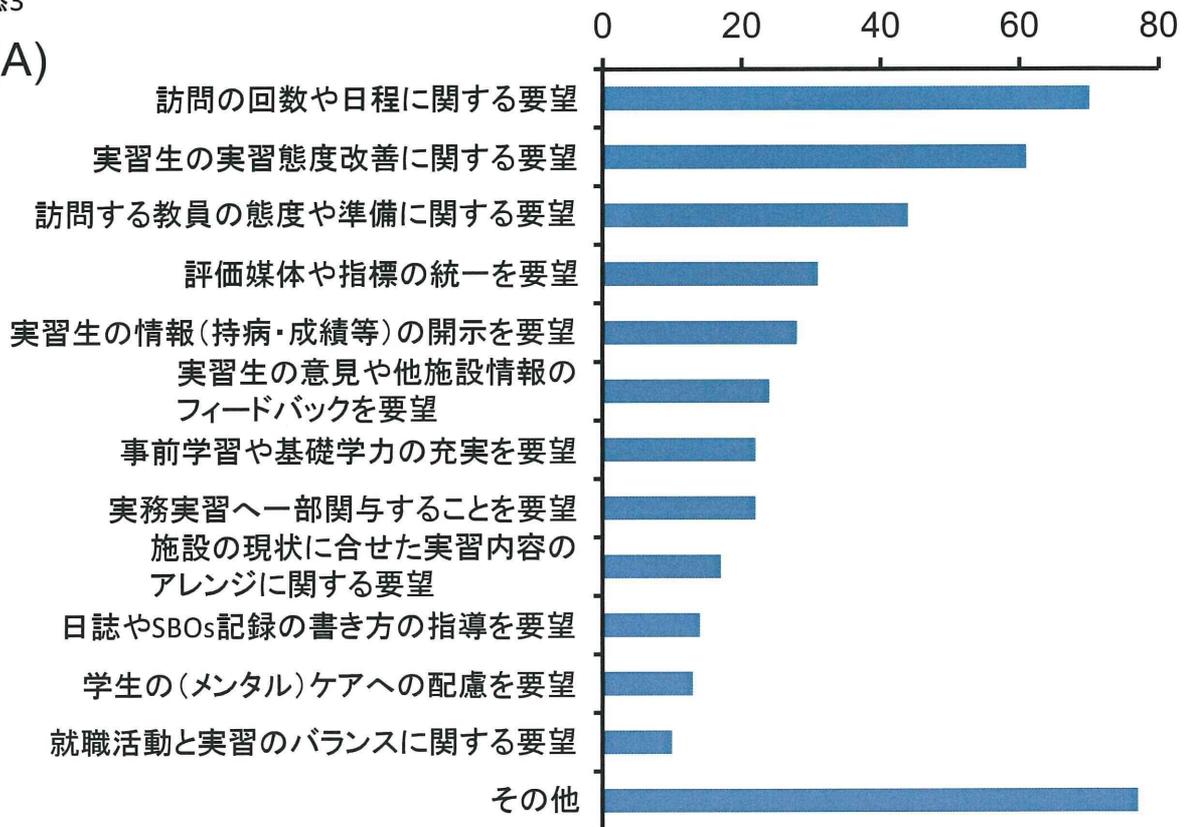


図30. 各受入施設における実習生への対応に関する集計結果。

別添3

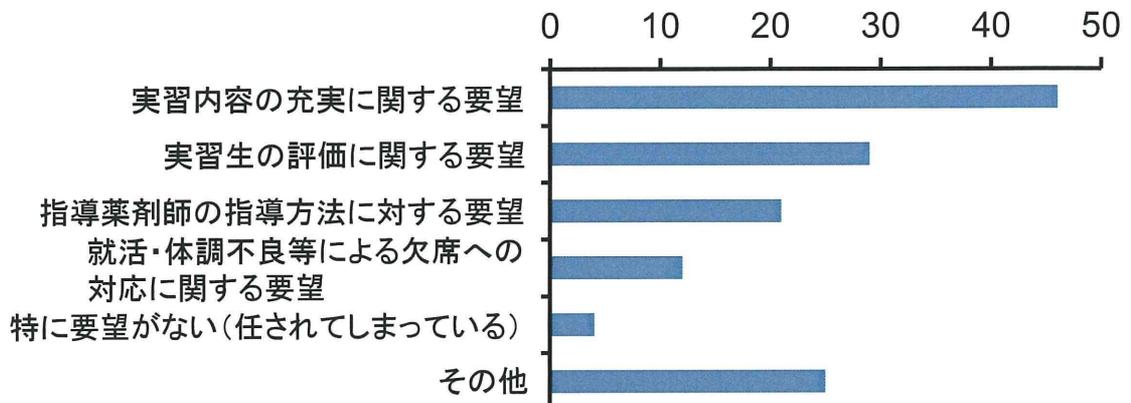
(A)



その他:

①実務実習調整機構監修の病院・薬局実務実習テキストに基づいて講義を行うので、テキストを持っていない学生にはあらかじめ購入して頂きたい。②病院は院外処方のため外来調剤の機会が少なく、できれば調剤薬局実習を行ってから病院実習を行うと、効率的に実習を行えて学生の理解もより深まると思う。③教員は病院にもいろいろあって状況に応じて仕事をしていることを全く分かっていない。薬剤師の仕事を大学病院でやっているようなことだけだと刷り込むのは本当にやめてほしい。④少数の学生の受け入れしかできないため、SGDや症例検討会の実施に苦勞する。実習開始前に訪問スケジュールやSGDや症例検討会への参加の可否を相談できれば訪問に合せた実習スケジュールが組めるのに、と思う。⑤予防接種の実施

(B)



その他:

受け入れ人数を増やせないか、PCやテーブルなどを揃えて欲しい、など。

図31. 教員訪問時に(A) 大学に対して要望した項目、および(B) 大学から要望された項目の集計結果

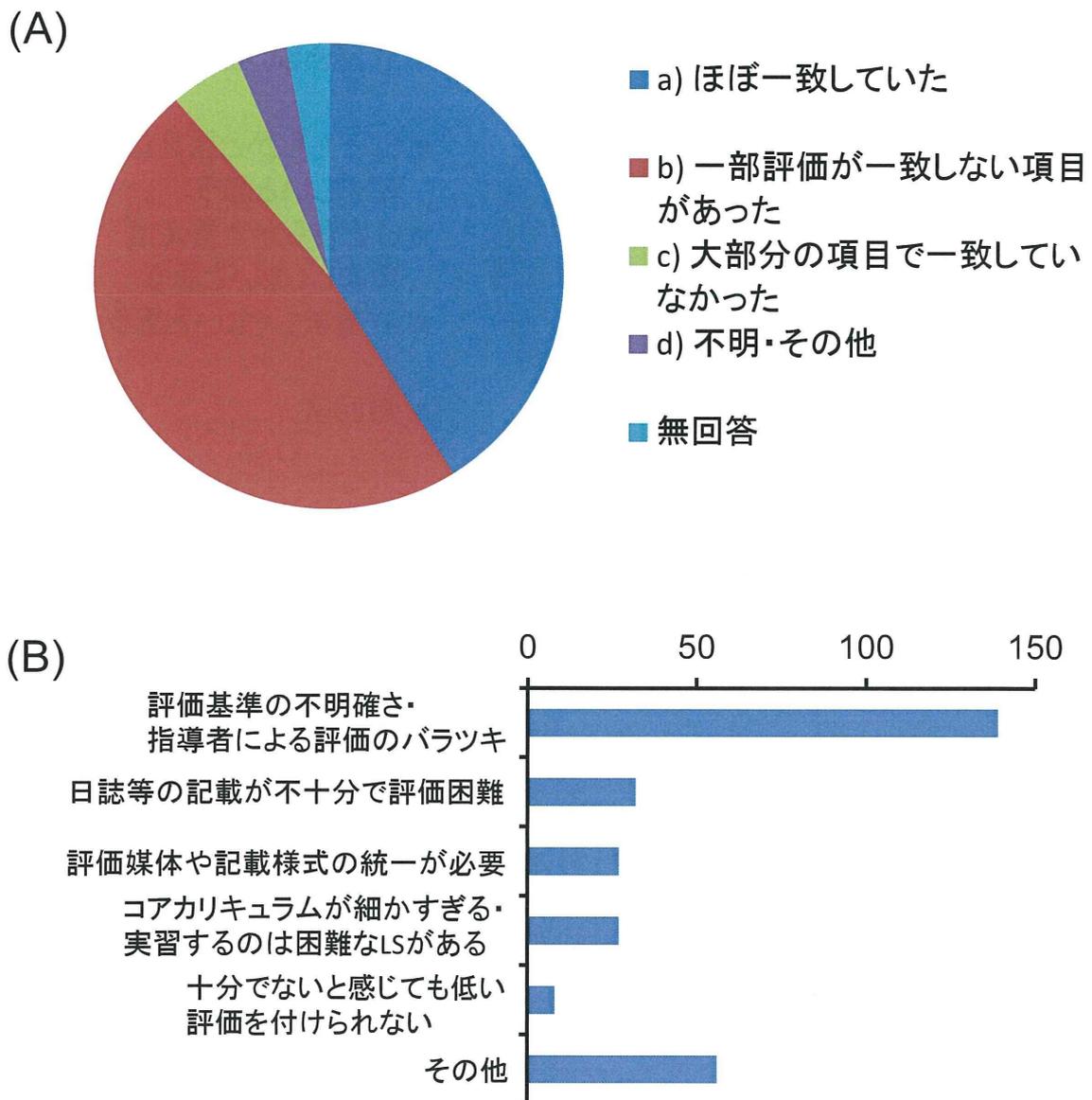


図32. 各実習受入施設における評価に関する調査結果。(A) 実習生と指導薬剤師間でのSBOs進捗評価の整合性に関する集計結果。(B) 各実習受入施設において評価上困った事項の集計結果。

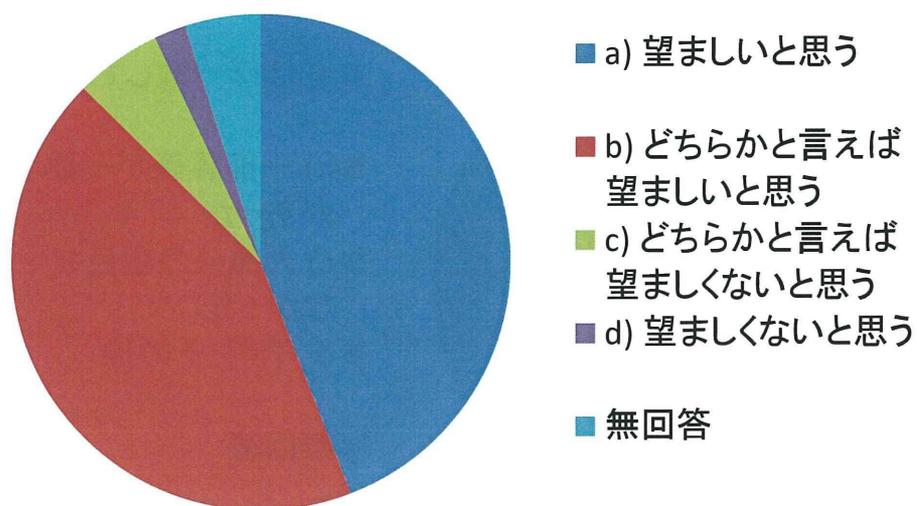


図33. 各実習受入施設の大学との人材交流に対する意識調査の集計結果

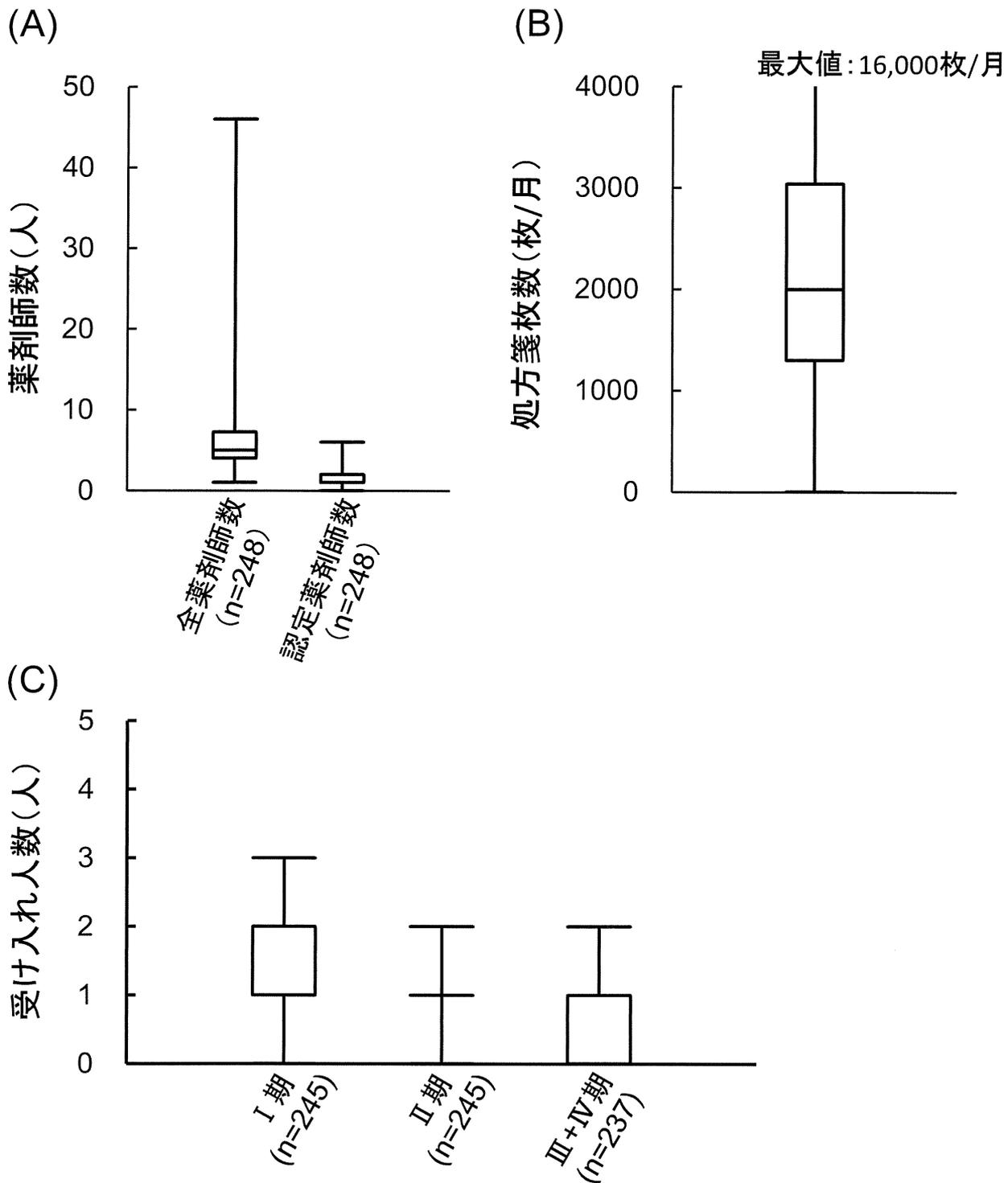


図34. 各実習受入施設の基本情報の集計結果。(A) 全薬剤師数(左)、および日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師数(右)、(B) 処方箋枚数(n=220)、(C) 実習生受け入れ人数。受け入れ人数についてIV期の受け入れがある場合は、集計上III期に合算した。

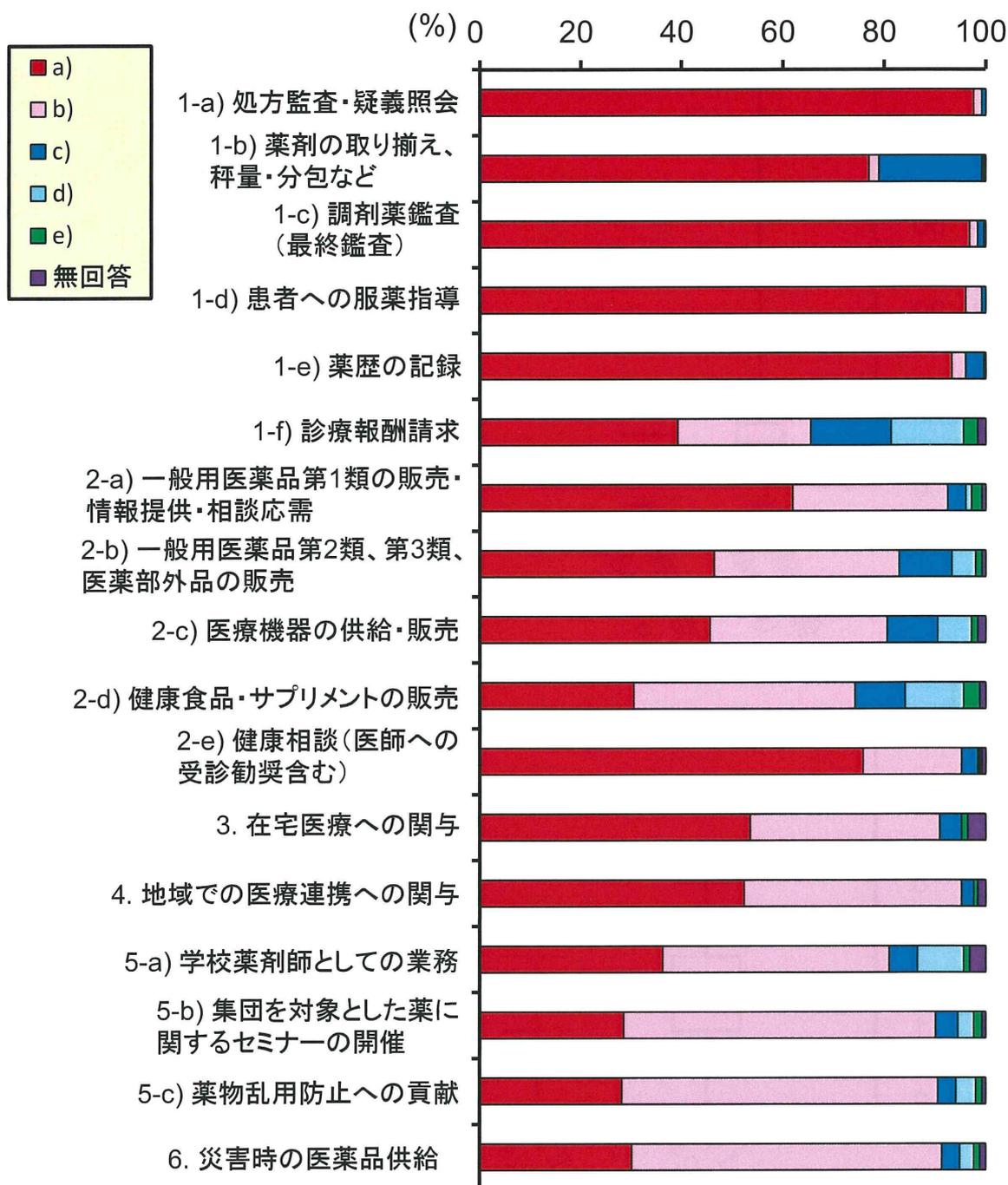


図35. 薬局薬剤師に対する薬局薬剤業務に関する意識調査(設問6-A)の集計結果。  
 a) 主たる実施者として関与すべきであり、現在も大きく関与している、b) 主たる実施者として関与すべきであるが、現在はあまり関与していない、c) 現在、主たる実施者として大きく関与しているが、関与の必要性について検討すべきである、d) 現在、主たる実施者としてあまり関与しておらず、積極的に関与すべき役割では無いと考える、e) その他。

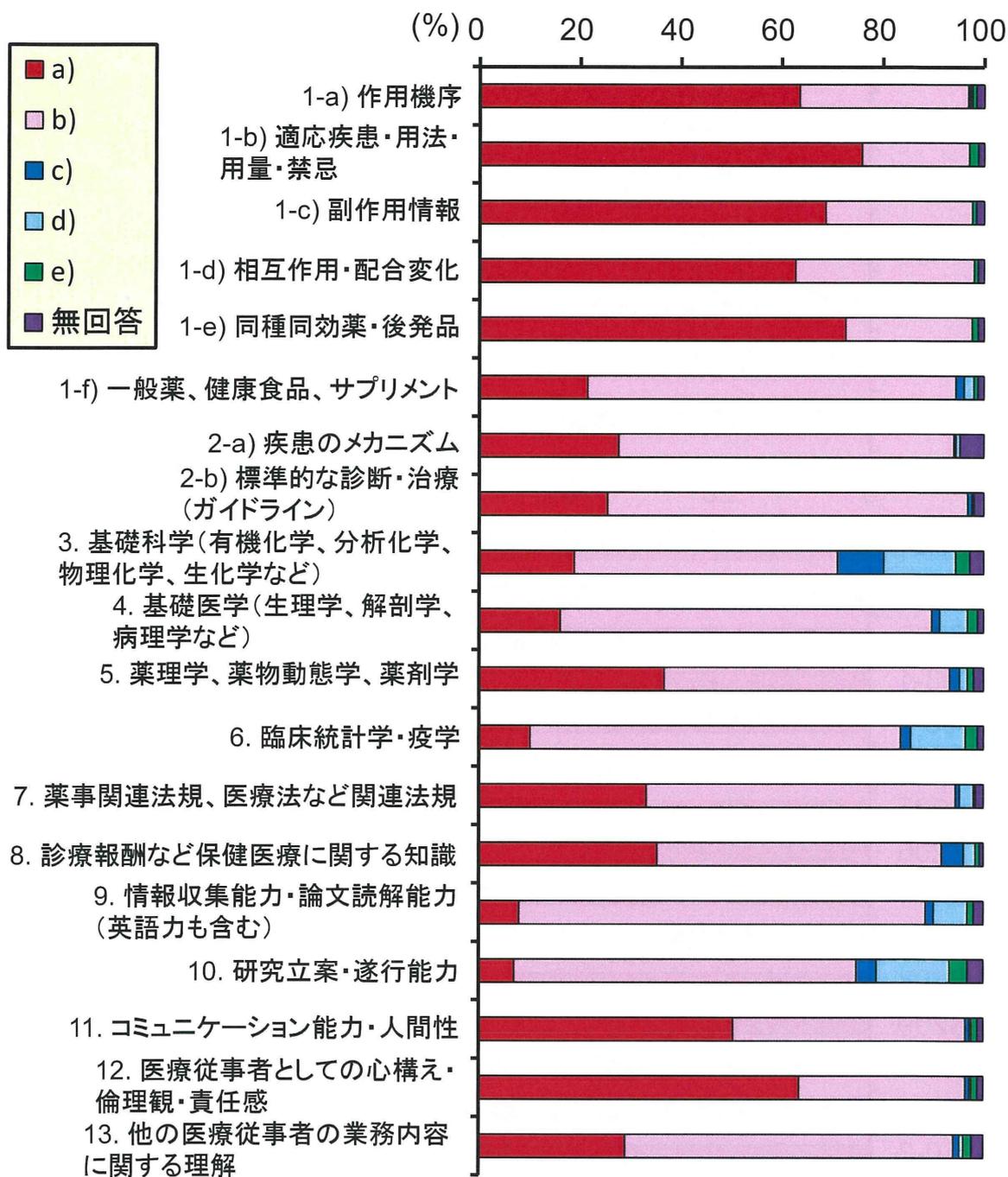


図36. 薬局薬剤師に対する薬剤師に必要な能力・知識に関する意識調査(設問6-B)の集計結果。

a) 今後も必要な能力・知識であり、現時点で多くの薬剤師が十分な能力・知識を有している、b) 今後も必要な能力・知識であるが、現時点では十分な能力・知識を有する薬剤師は少ない、c) 多くの薬剤師が十分な能力・知識を有しているが、今後の薬剤師にとっての必要性は低いと思われる、d) 十分な能力・知識を有する薬剤師は少ないが、今後の薬剤師にとっての必要性も低いと思われる、e) その他。

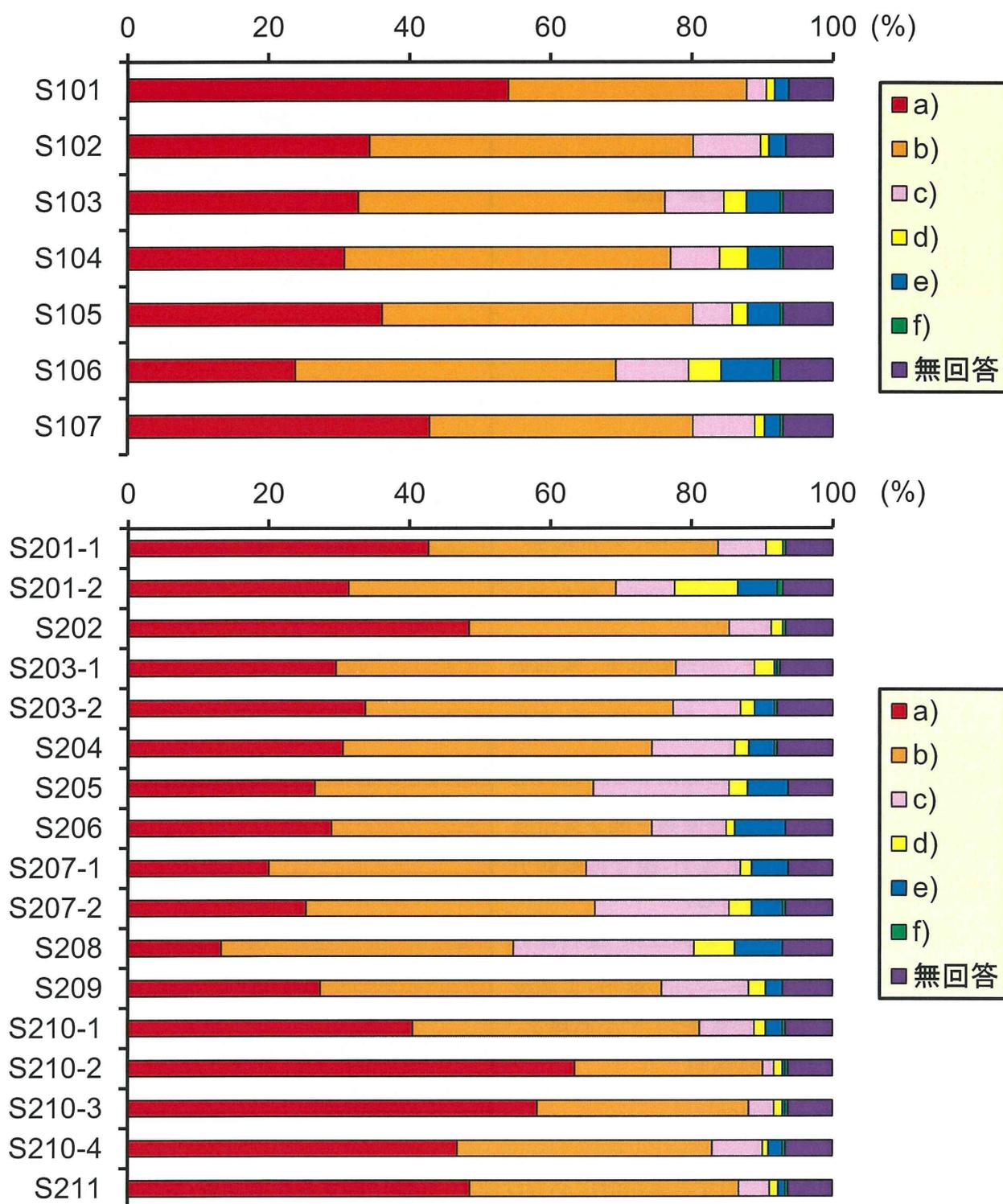


図37. 薬局を対象とした実務実習生の事前学習の各LSの修得度に関する意識調査の集計結果。

a) 事前学習で習得すべき内容であり、ほとんどの実習生が習得している、b) 事前学習で習得すべき内容であるが、習得が不十分な実習生もいる、c) 事前学習で習得すべき内容であるが、ほとんどの実習生が習得していない、d) 実務実習方略に含まれない内容のため、習得状況は不明、e) 事前学習で習得すべき(可能な)内容であるか疑問である、f) その他。

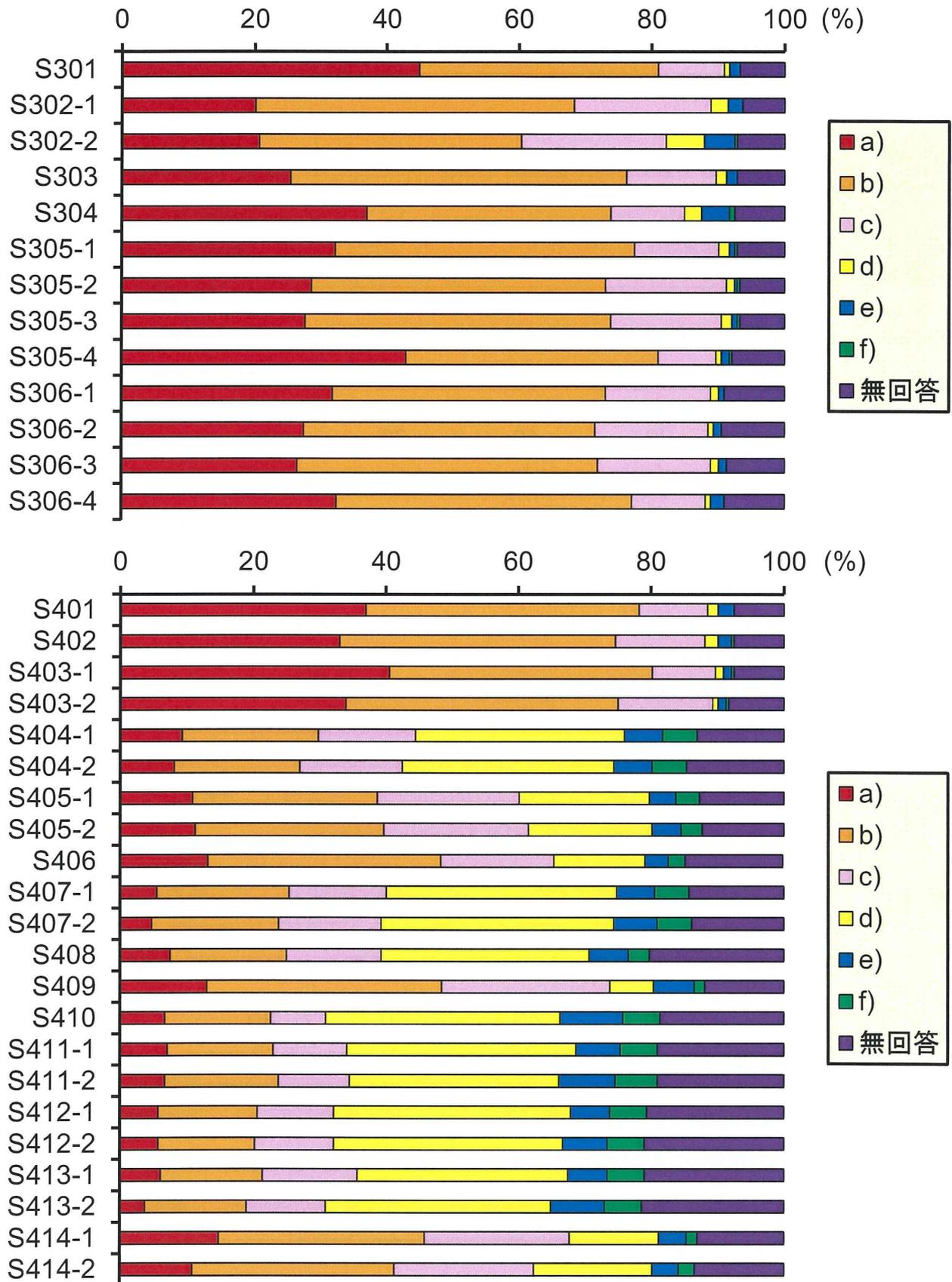


図37. (続き)

別添3

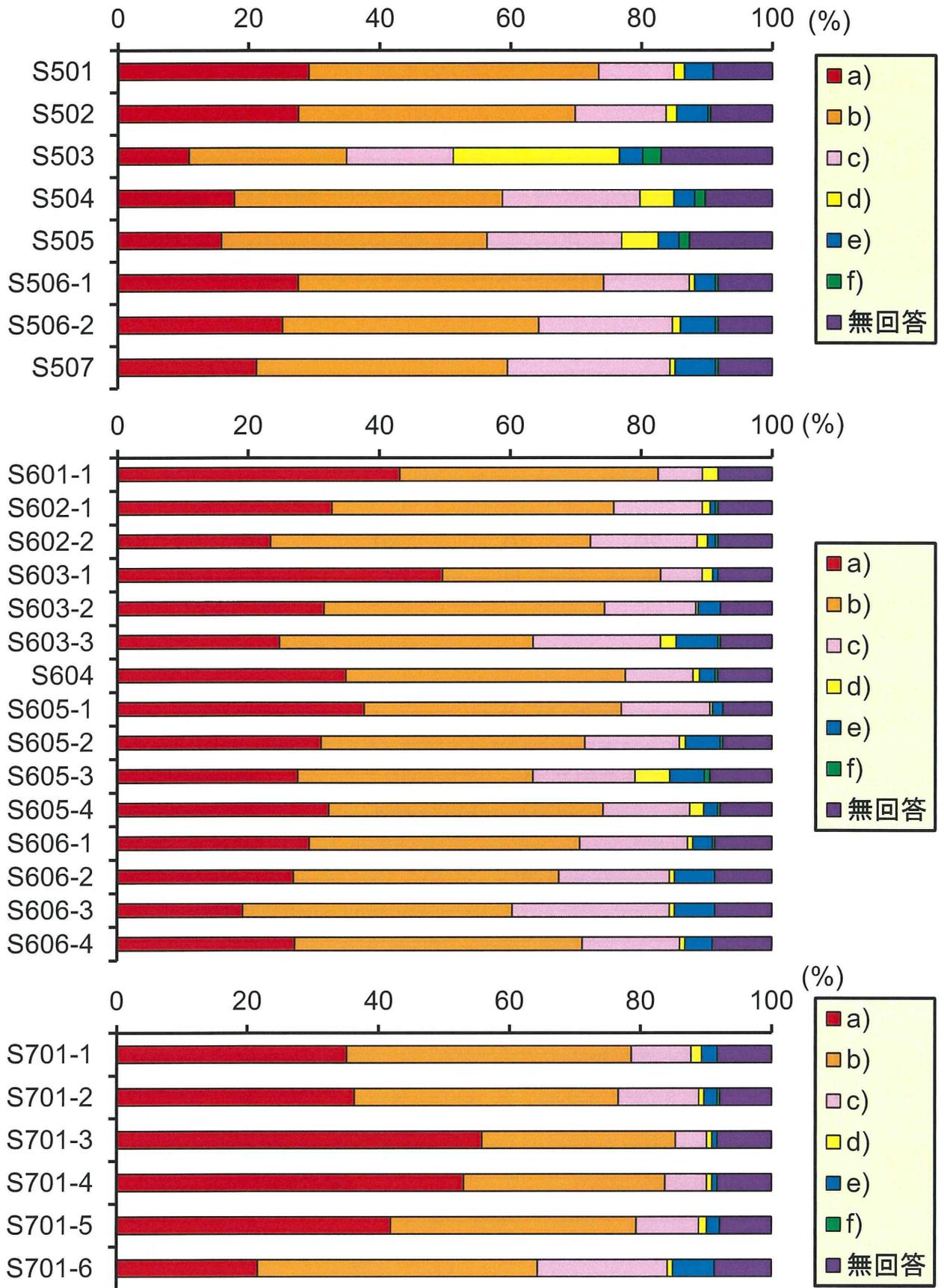


図37. (続き)

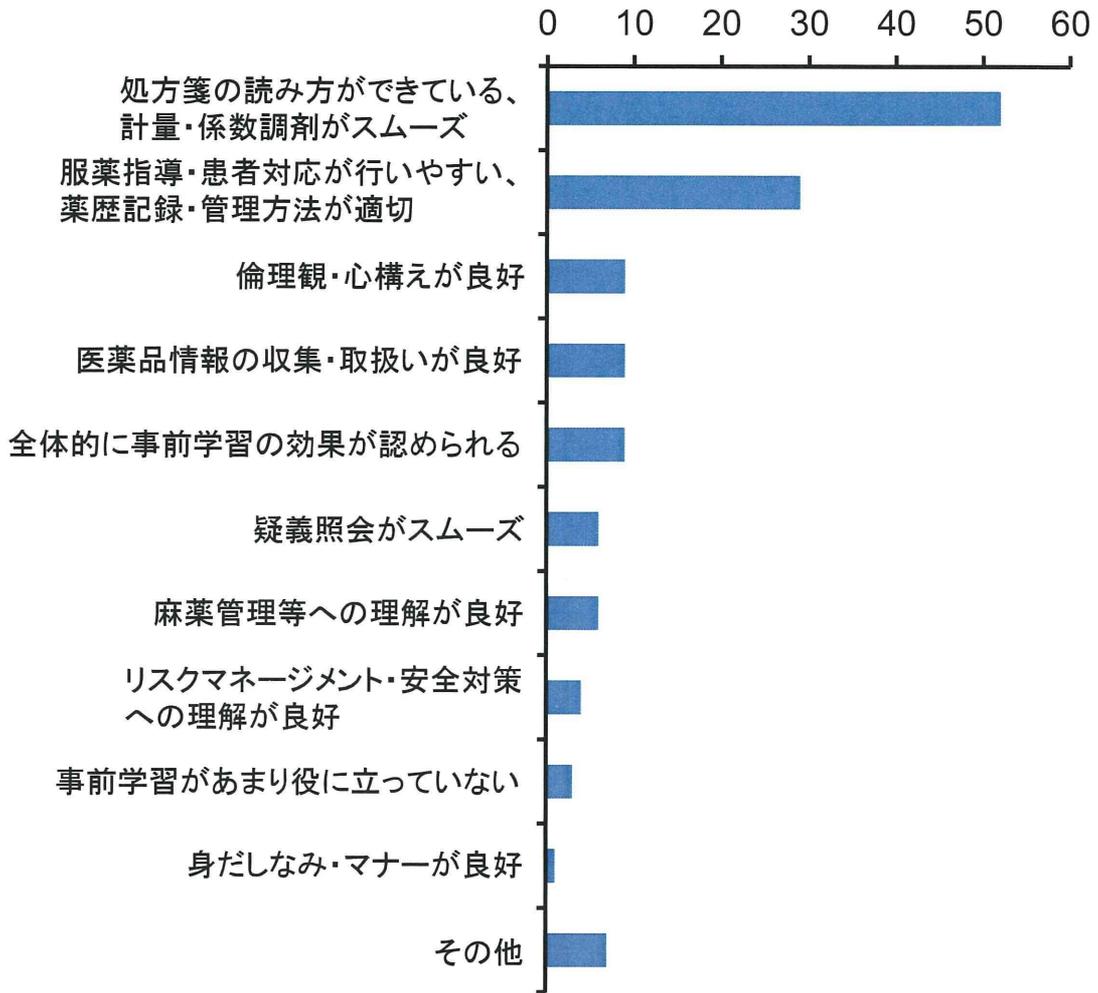


図38. 各薬局において、事前学習がなされていることで実務実習がスムーズに進行した事例の集計結果。

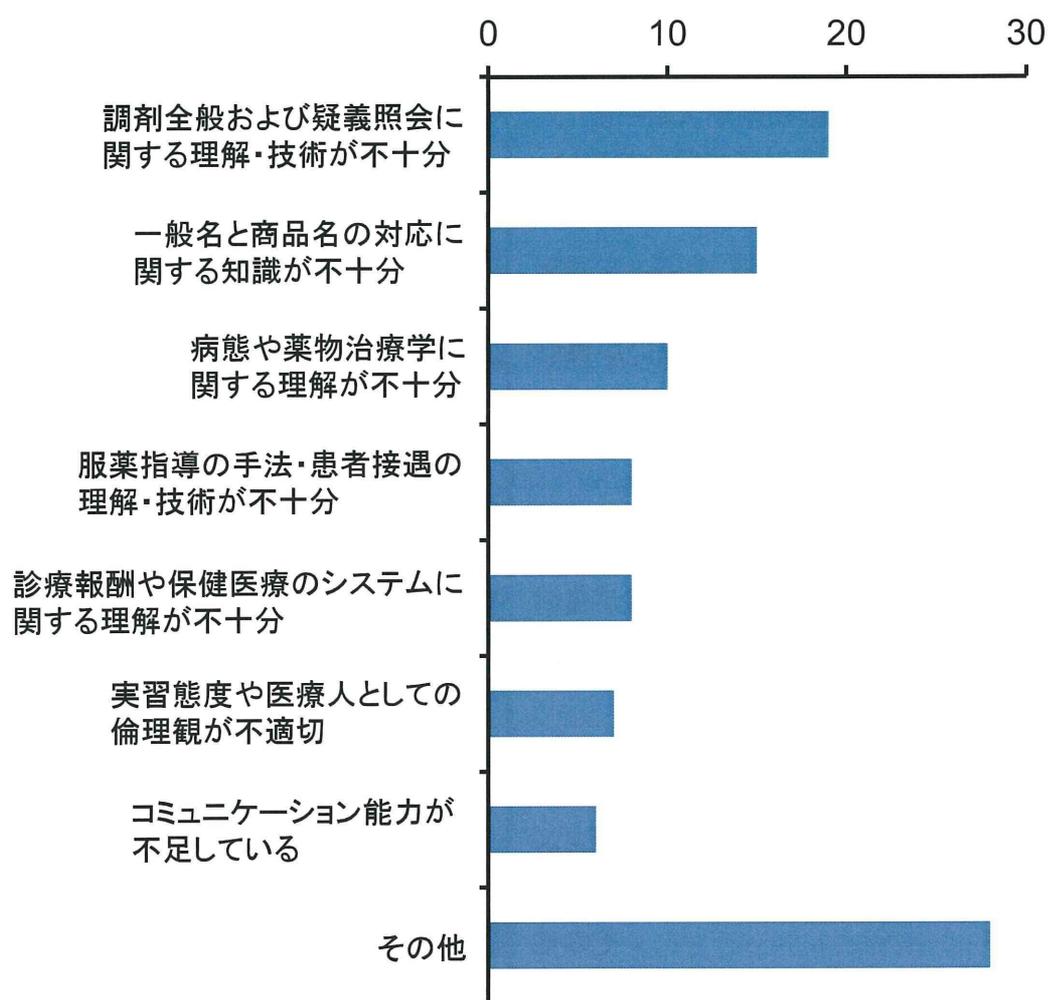


図39. 各薬局において、事前学習が不十分なため、実務実習を行う上で困った事例の集計結果。

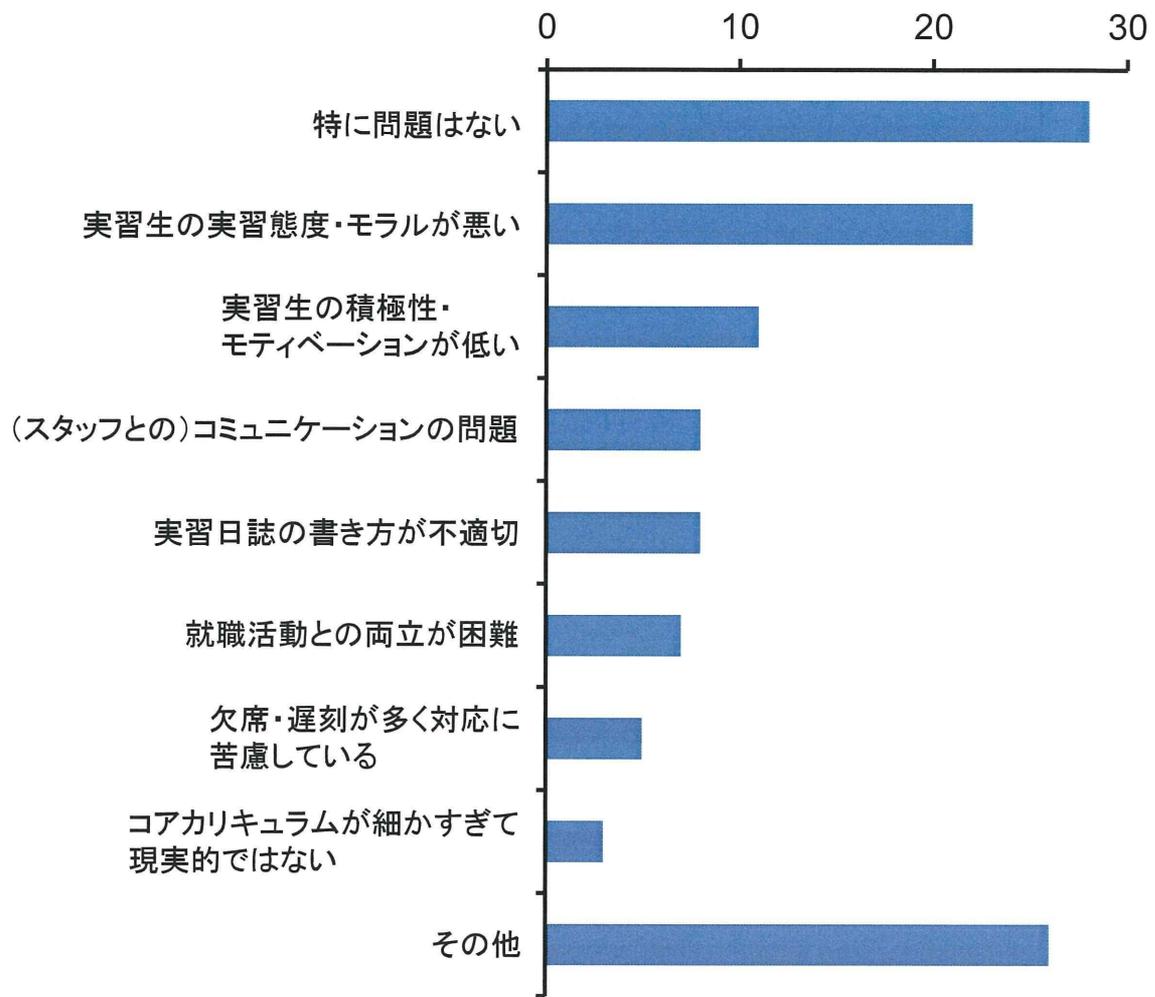


図40. 各薬局において、その他、実務実習を行う上で困った事例の集計結果。

別添3

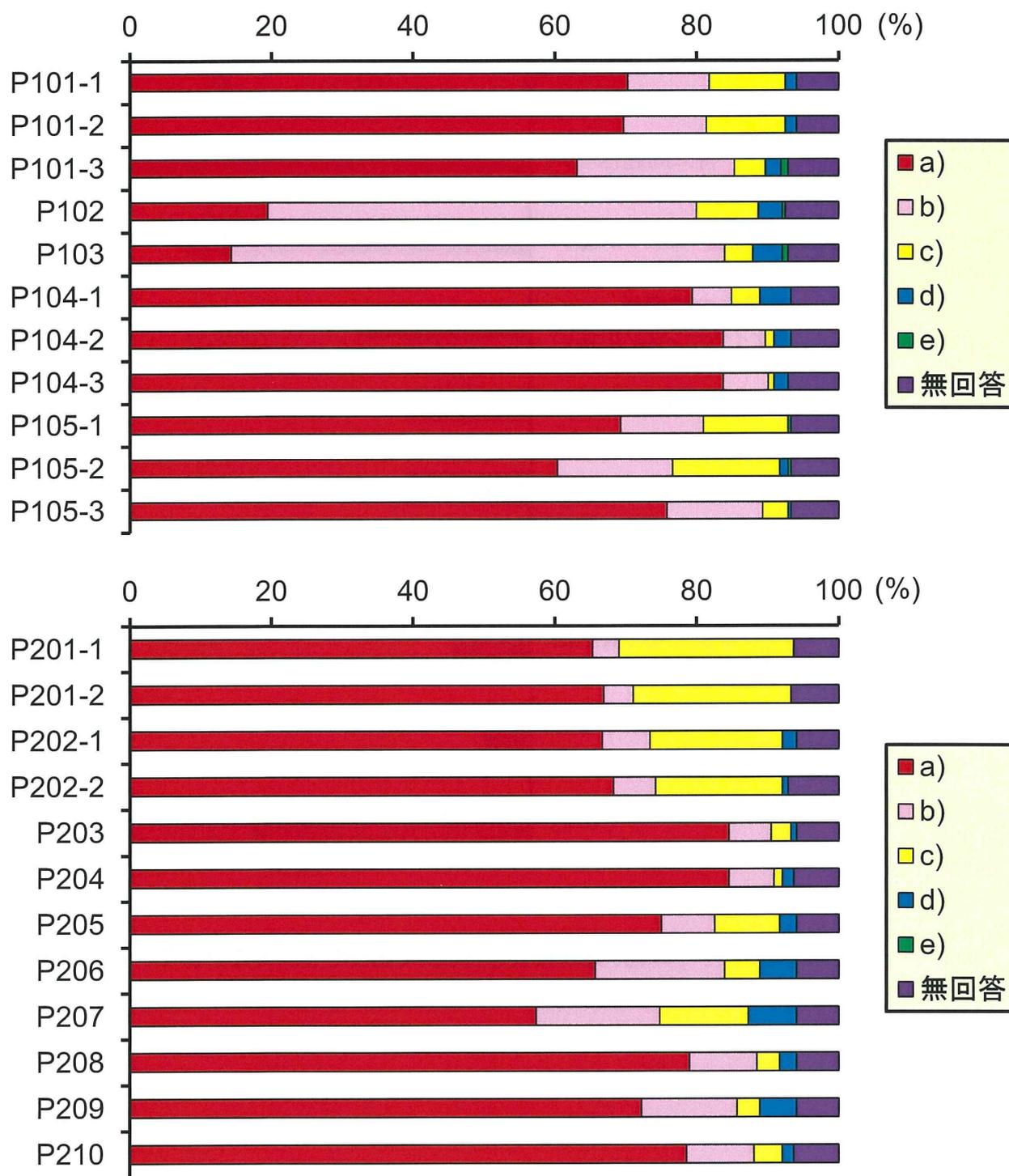


図41. 薬局を対象とした実務実習の各LSの取扱いに関する意識調査の集計結果。  
 a) 薬局実務実習において習得すべき内容であり、全ての施設で行われるべきである、b) 薬局実務実習において習得すべき内容ではあるが、薬局の状況に合わせて実施は判断する、あるいは近隣薬局に依頼するなどの手段を検討すべきである、c) 事前学習までに習得しておいて欲しい内容である、d) 主として卒後実習で習得すべき内容と考える、e) その他。

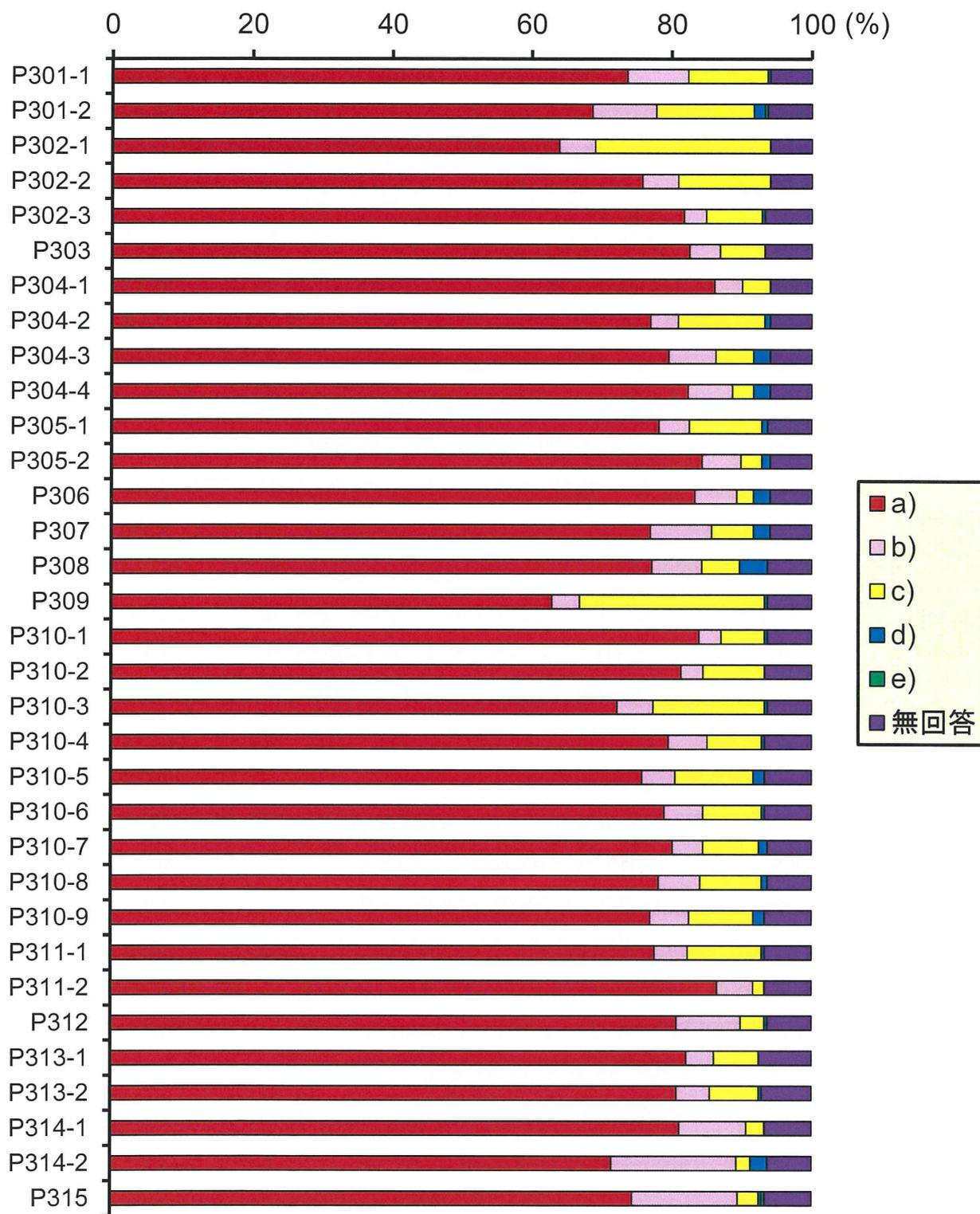


図41. (続き)

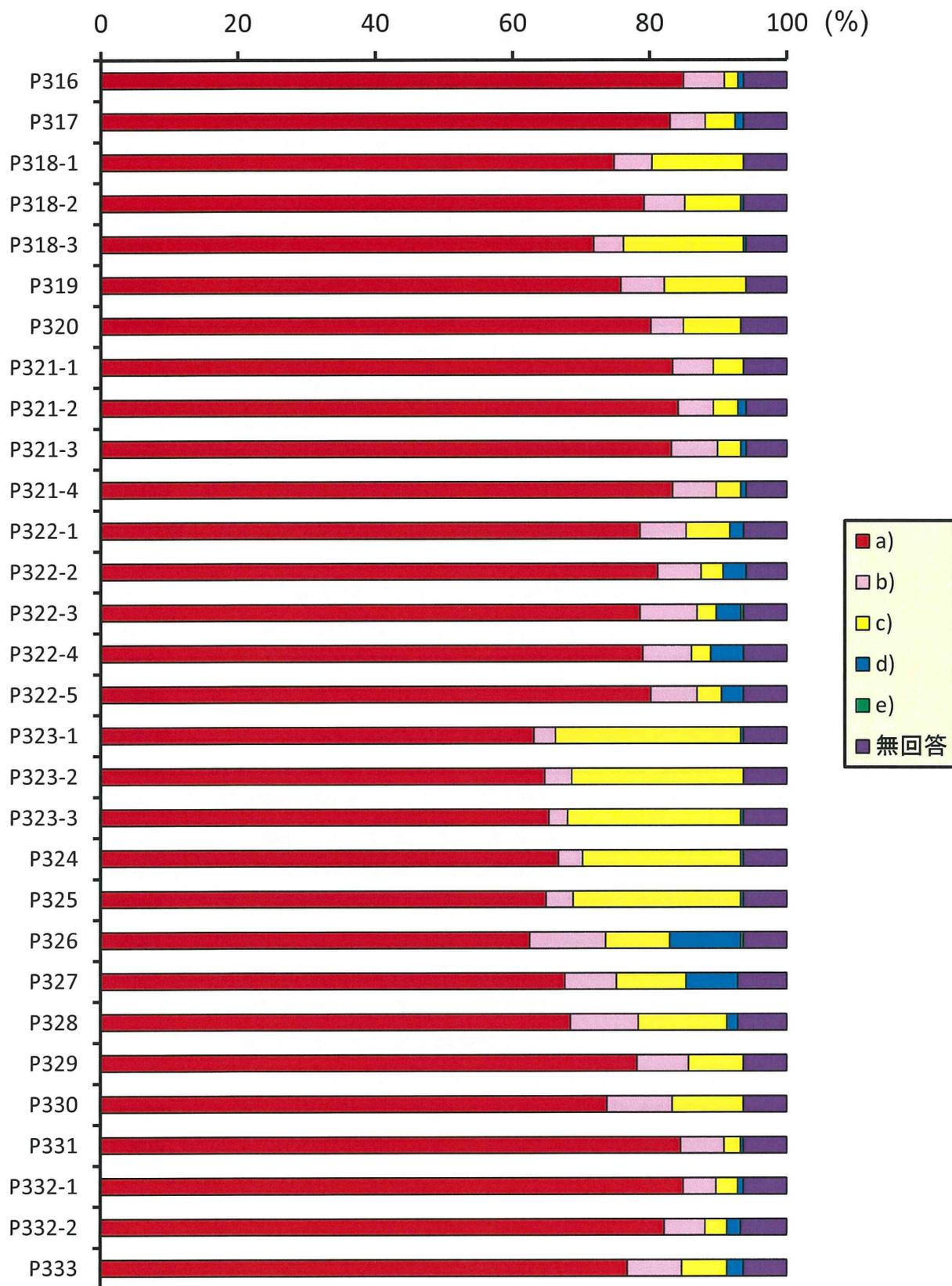


図41. (続き)

別添3

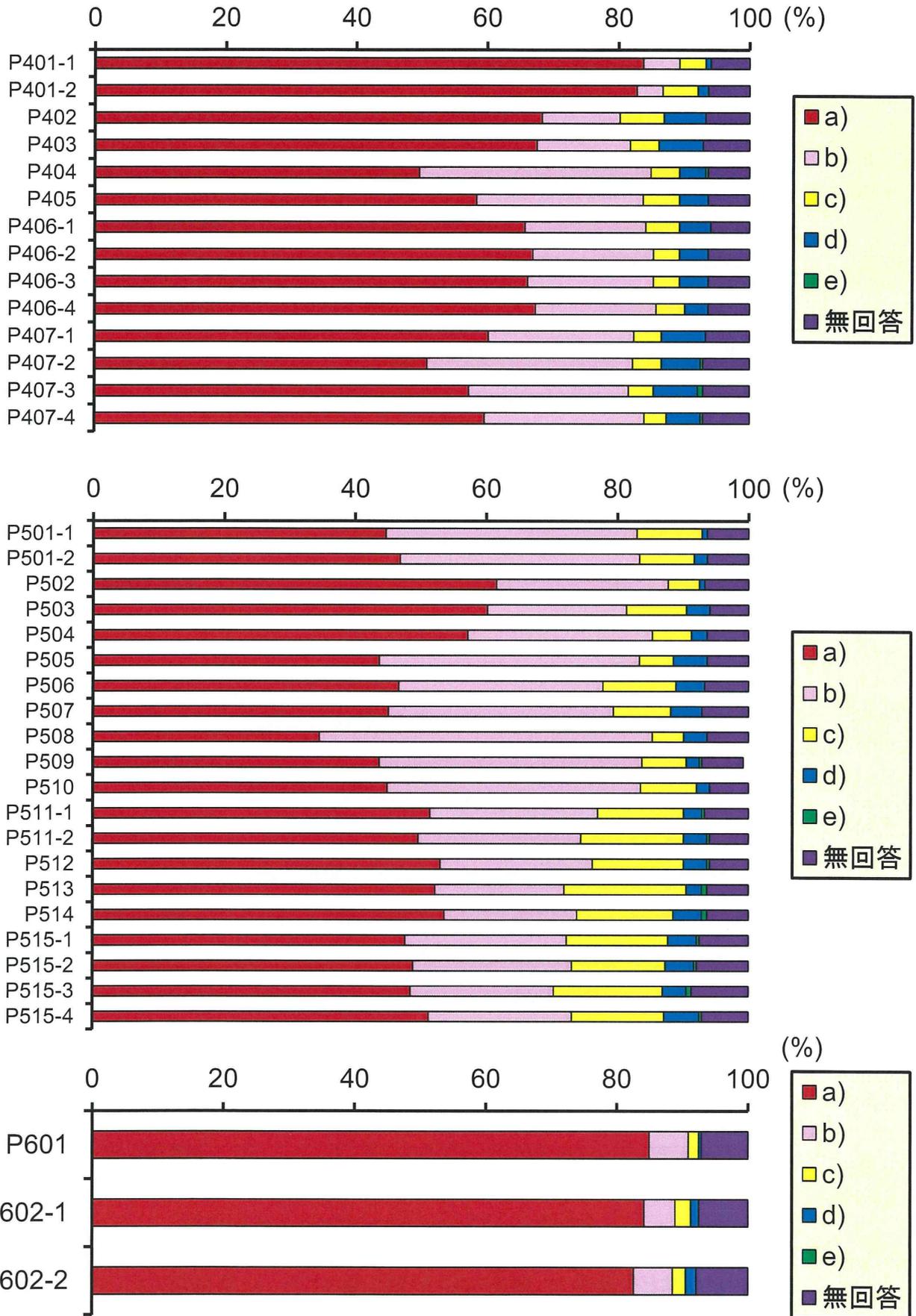


図. 41 (続き)

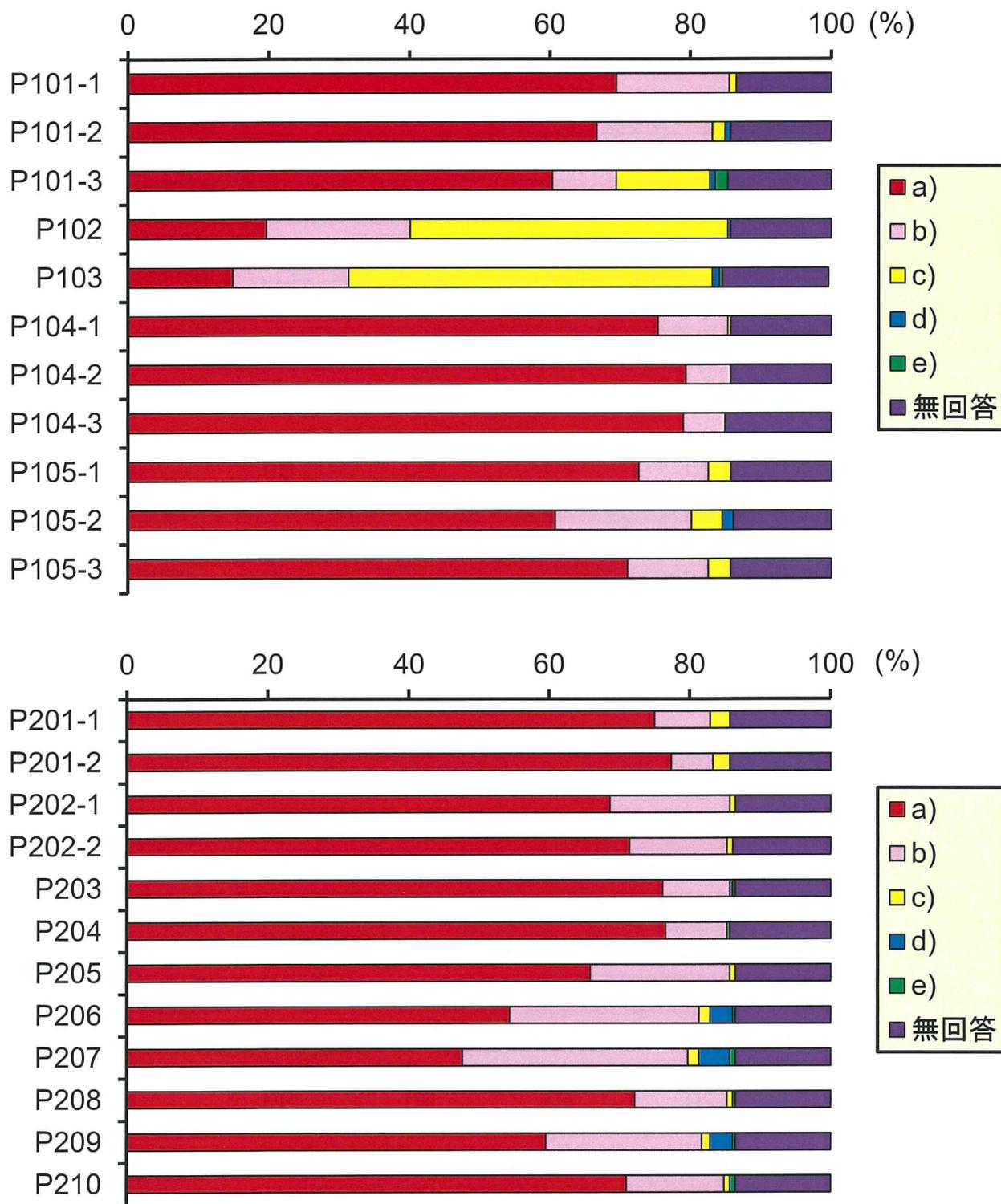


図42. 薬局を対象とした実務実習の各LSの実施状況調査の集計結果。  
 a) 自施設において十分に実施できた。(時間の延長も含む)、b) 自施設において実施したが、業務の現状などに合わせて、適宜内容・時間を縮小した、c) 自施設において実施が困難なため、近隣薬局や同一系列店の他店舗への依頼、あるいは地域の薬剤師会単位での集合研修で対応した、d) 当該内容については実施していない、e) その他。